

第3回菊池市総合計画策定審議会 議事録

I 概要

日 時 令和7年7月29日（火） 13:30～15:20

場 所 菊池市役所 本庁3階305大会議室

出席者 上野（眞）委員、古津委員、野口委員、松野委員、泉委員、
岩下委員、田嶋委員、上野（智）委員、谷委員、釧委員、錦戸委員、
堀田委員、岩根委員、佐藤委員、赤星委員

欠席者 北村委員、下川委員、出口（一）委員、立花委員、永田委員、
出口（美）委員

菊池市政策企画部 宇野木部長、稲葉室長、中山課長補佐、福原参事
地方経済総合研究所 津口、石川、大久保（文責）

※以下敬称略

II 会次第

1 開会

2 会長挨拶

- ##### 3 議事
- （1）第3次菊池市総合計画後期基本計画体系図（案）について
 - （2）総合計画と総合戦略の一体化について
 - （3）分野別施策について

4 閉会

Ⅲ 議事詳細

発言者	内容
	1 開会
	2 会長挨拶
会長	参議院選挙では、外国人との共生のテーマが取り上げられることが多かった。この議論の中で菊池市に共生の場を作っていきたい。安心して暮らせるまちづくりにむけて、審議会で計画をブラッシュアップしたい。今回示される資料はたたき台となるもの。議題についてご検討いただきたい。
会長	議題 1 について事務局から説明をお願いします。
	3 議事（1）第3次菊池市総合計画後期基本計画体系図について
事務局	基本的に前期計画を踏襲し、5つの政策分野、15のありたい姿、30の施策で構成している。変更点は2点あり、1点目は、4つの横断的項目を体系図から削除している。変更点の2点目は、施策27『市民協働の推進』を追加している。シンプルなつくりにして、より分かりやすいものになっている。 (資料1を基に説明)
会長	従来のもに更新等を行い強調してある。横断的な項目については施策に溶け込ませ、シンプルな形で整理された。委員からお気づきの点、ご不明点などあればお願いしたい。
	意見なし
会長	今後、審議会が進んでいく中でご意見等があれば出していただきたい。次に、総合計画と総合戦略の一体化について、事務局から説明をお願いします。
	3 議事（2）総合計画と総合戦略の一体化について
事務局	はじめに、総合戦略とは、急速な人口減少と高齢化が進む日本において、持続可能な社会を目指す地方創生に特化した計画である。現在は「第2期癒しの里きくち創生総合戦略」として、4つの基本目標と9つの施策を展開している。計画期間は当初令和6年度までの5年間であったが、総合計画との一体化を見据え、1年間延長し令和7年度までの6年間とした。

	総合計画と総合戦略は、内容が重複するものの計画期間にずれがあったため、策定・改定作業、進捗管理、効果検証などの共通作業を別々に行う必要があり、作業量が増大していた。そこで、後期基本計画からは総合計画と総合戦略を一体化することとした。この一体化に伴い、KPI（成果指標）の見直しを実施している。基本的な考え方は総合戦略を継承し、施策については総合計画の重点項目に位置付けられた施策とする。KPIについては、総合計画で設定した各施策におけるKPIを基本とするが、地方創生に関わる重要な指標は総合戦略から引き継ぐ。 委員から「新たな総合戦略の基本目標と後期計画の関係性が分かりにくいのではないか」との意見をいただいたので回答する。見せ方としては、総合計画の冒頭に総合戦略の基本目標や施策等を記載し、総合計画の施策との相関図を掲載する。これにより、総合計画一冊で総合戦略を兼ねるよう策定する。 （資料2を基に説明）
会長	総合計画に総合戦略を取り込んだ形で整理をされた。目指すところは成果指標の達成であり、総合計画と同じ指標を設定し、重複の無駄がないように進められるということ。この点について、何か質問はないか。
委員	人口ビジョンは総合計画と合わせて策定されるのか。人口ビジョンの見直しについても、今後は総合計画と同じサイクルで見直していく予定なのか。
事務局	人口ビジョンは策定中のため、今回の資料には載せていないが一体的に策定する。次回審議会までに、総合計画の中に人口ビジョンを記載し、人口推計を基にどのような戦略を立てていくかが分かるように整理をしていきたい。
委員	市民の方に、市が取り組んでいることがあまり伝わっていない気がする。情報は出していると思うが、もう少し情報発信を頑張ってもらいたい。
会長	広報紙等の様々な機会を通して情報をお伝えしている。確かに情報が届かない人や届いていても記憶に残っていない人もいるかもしれない。何か良いアイデアがあれば、参考にお伺いしたい。
委員	市役所は市民の皆さんが集まる場所。市として実施していることをもっと周知したら良いのではないかと。他に市民広場もある。観光物

	産館はあるが、活気を感じない。市が実施している取り組みや推進していることを知らせた方が良い。
会長	情報発信は苦勞しながらされていると思うが、工夫を凝らして、市民の方が立ち寄りそうな場所をうまく活用されたら良いと思う。
委員	広報紙を見ていない人も多い。高齢者はほとんど読んでいないのではないか。
会長	一般的な社会の人々は、自分に関心のある情報はキャッチするが、関心のないことには興味を示さない。様々な行政サービスがある中で、必要な方に情報が届くよう発信する努力は、不断に行政側はやっていかななくてはならない。100%の市民が知っているというのは少しハードルが高いが、気づいていない人に対して近所の人が声を掛け合う関係があると、もっと住みやすい社会になると思う。そのような関係性が保てるという意味では、菊池市は人口規模的にも丁度良い規模である。そうした良さを上手く計画にも載せられたら良いと思う。
事務局	行政としても広報の方向性は、様々模索しているところである。広報紙やホームページ、インターネット、「キクチカラ」というアプリ等を活用し情報発信を行っている。必要な方に必要な情報が届くように、特に福祉関係の情報はプッシュ型で通知を送っている。しかしそれが、100%市民に伝わっていると言われると、厳しい面もある。いただいたご意見等を参考にしながら、今後も広報に努めていきたい。
委員	菊池といえば温泉であり、温泉街のPRは大事だと思っている。温泉街の入口の看板が老朽化しているため、自分でお金を払ってでも、看板を作り直したいと思っている。もっと温泉街をアピールした方が良い。
事務局	現在、観光振興課で温泉街のリブランディング事業を令和5年度から進めている。この事業は、温泉街の旅館、飲食業の方々など地域の方と協力しながら、どのように温泉街を活性化していくか検討をしている。温泉街の看板についても、その中でご意見をいただきながら進めている。

会長	そのようなご意見があったということも、担当課に伝えていただければ良いと思う。他にご意見がないようであれば、次の議題に移りたい。
	3 議事（3）分野別施策について
事務局	各課が作成した分野別施策について取りまとめている。昨年度より、各課ヒアリングを通して、現行計画の振り返りを行い、後期4年間で取り組む内容について記載している。総合計画のため、施策にもとづいて取り組む内容を総括的に記載しており、各課が行う事業については実施計画の中で記載される。今回の資料はたたき台となるものであり、これから内容や文言修正等を行い、ブラッシュアップしていく。現時点で、委員の専門分野において、取り入れたほうがいい視点や取組等があれば、ご意見をいただきたい。 （資料3を基に説明）
会長	今回は途中経過を示した。政策の目的や課題、事業を掲げて、成果指標に向け事業を実施する方向で整理を進める。文言については修正可能なため、現時点でお気づきの点、疑問点があれば出していただきたい。
委員	資料15ページの都市整備についてお尋ねする。ウォークアブルシティとかかわまちづくりに関して、迫間川つなぎ石公園の整備が完了し、綺麗に整備されたのは良かったが、公衆トイレがなかった。公園には、ベンチと公衆トイレは必要だと思う。多くのお金をかけて整備されても、それだけの活用がなされるのか不安になった。価値があるものに使ってこそその税金。今後、公衆トイレを作られる予定はあるか。
事務局	今後、公衆トイレを設置する予定で計画を進めている。事前にご意見をいただいたような、おしゃれな公衆トイレになるかは分からないが、公衆トイレを整備する計画はある。
委員	資料の21ページから22ページの箇所について質問したい。生涯学習と学校教育に関して、私自身スポーツマイスターとしてクラブのインストラクターをしている。子どもたちの居場所作りが必要と思っているが、体育館にエアコンがないため夏は暑くて使えない。将来的に小学校の体育館にエアコンをつける計画はあるか。

事務局	今のところ、ここ何年というサイクルでの計画はないが、猛暑日が続く状況は今後も考えられるため、検討していきたい。体育館のエアコン設置は相当な費用がかかるため、国の支援などが必要になる。市内には 15 の小中学校があるので、一つの学校だけ設置するというのは難しい。総合的な判断で今後必要に応じて計画していくものと考えている。
委員	今の話に関連するが、対策として、水分塩分をとって自分で対策することも必要だと思う。個々の体調管理、体力づくりも大事なのではないか。エアコンに頼りすぎる教育も心配である。
会長	様々なご意見があると思うが、別の角度から見ると、大規模災害時に拠点となる避難所が体育館ということもある。防災目的で整備する必要性もあると思う。学校の施設なので、難しい面もあると思うが、地域全体で見たときに拠点性を持って考えていく余地もあるかもしれない。財政的にも工夫して執行していると思うが、縦割りではなく、横連携でご検討いただきたい。
委員	質問が 2 点あり、まず 1 ページ目の関係人口の拡大の部分で、満足度を向上させるという点は、量か、質かという話になる。これに関して縦軸を増やすという観点で言えば、まずファンの絶対値を増やし、その後、満足度を上げるのか。どちらが良いかは議論する必要がある。今菊池に来ている方の満足度を上げて良いのではないかな。 次に、19 ページのべんりカーについて。公共交通機関の内容が書いてあるが、宅地開発で住宅や商業施設を誘致する中で、既存の公共交通機関に加えて新たな路線や方法はあるのか。高齢化社会でもあり、若年層にとっての通学や空港へのアクセス等を考えても、代替案が出てくれば、住みやすいまちに繋がる。何か効果的なものがあると良い。
事務局	1 点目菊池ファンクラブについて、現在は 6,800 人程会員がいる。菊池観光協会の努力で数は一気に増えたが、頭打ちとなっている。コロナ禍もあり十分な PR ができなかったという事情もある。観光振興課としては、数が増えることも理想ではあるが、今のファンの方々に対して情報発信等をしっかり行うことで、観光で菊池に来るリピーターになってもらうことやふるさと納税に繋げたいという考えになった

	と聞いている。次に、公共交通の路線拡大について、相乗りタクシー、べんりカーについては、既存の民間事業者の営業していないルートが最優先になっている。産交バス、熊本電鉄バスとの調整を図った上で路線を設定しているため、新しい路線を拡大することは現在のところ考えていない。ただし、利便性向上のため、市民からの要望等を聞きながら今後検討していく。
委員	多文化共生について。菊池市でも外国人が増えている。私達も他国の文化やライフスタイルを理解する必要がある。聞いたところでは、本市在住の外国人は 20～30 代の若者が多い。働き盛りで税金も納めているため、同じ市民という立場で理解しなければならない。
事務局	多文化共生はすぐに取り組まなければならない点と認識している。こども議会の中でも、同テーマは子どもたちが提案を図っているところであり、ご指摘の通り日本の文化を知ってもらうことも大事であり、相手側の文化も知る必要があると感じている。菊池市が県内で 2 番目ぐらいに外国人が多い。今後ますます身近な存在として外国人がいることになる。子どもたちはそれを敏感に感じて、知る機会の必要性を感じている。今回のご意見は庁内にも情報共有し検討していきたい。
会長	この間の参議院選挙で、参政党は日本人ファーストと、外国人を敵視するような政策を出した。同じ地域に暮らす者として感じている人はいるはずだが、時に敵意を持つてしまう人もいる。大きな社会の中で、そういった負の感情が突出して出てこないように教育の機会が育まれていくと良い。人口が減っていく中で、共生しか方法はないと思う。不安に感じる人もいることを踏まえて、政策の中で早めに取り組んでいかなければならない。他に何かご意見はないか。
委員	べんりカーについて。私自身よく利用しているが、停留所に屋根やベンチを設置してほしい。高齢者が多く利用するため、利用促進をするのであれば、ベンチは置いた方が良いのではないか。
会長	昔は病院などから寄付があった。イベントのときに子どもたちがベンチを制作して提供、寄付しているところもある。行政が税金を使う以外の市民が関わる方法も含めて、いい知恵が出たら暮らしやすい地域になると思う。

	予定していた時間になった。本日は大体のイメージをお伝えした。 最後に何か事務局から連絡はないか。
事務局	次回の審議会は、9月17日（水）の13時30分～となる。場所は キクロス大研修室で開催を予定している。内容については、計画素案 の審議となる。委員には改めてご連絡する。
会長	これをもって閉会とする。